



▲子ども力士の真剣な取組に、応援にも熱が入りました

全身でぶつかる熱き闘志

伊田校区地区対抗相撲大会

9月30日、伊田小学校で「伊田校区地区対抗相撲大会」が開催されました。この大会は、昭和33年から続く催しで、今回で60回目。この日は、伊田校区7地区の1～6年生でつくる10チーム総勢80人が、激戦を繰り広げました。汗ばむほどの秋晴れの空の下、子どもたちが土俵に上がると、友人や保護者からの大きな声援が響き、会場は熱気に包まれました。

手に汗にぎる闘いの末、優勝に輝いたのは川端町Aチーム。上級生としてチームをまとめた矢野美桜さん（6年生）と水岡煌翔くん（5年生）は「最初から優勝目指して戦いました」「自分より大きい人にも、思いっきりぶつかりました」と取組を振り返りました。

未来に向かって走れ！

アスリートによる陸上教室

9月25日、大浦小学校で「アスリートによる陸上教室」が行われ、同校の5年生・6年生63人が汗を流しました。

この日は、バルセロナオリンピック女子マラソン選手の小鴨由水さんと平成28年陸上日本選手権走り高跳び2位の平山達さんが同校を訪問。スタートの方法や走る時の姿勢、足の動かし方、走り高跳びのテクニックなど基礎的なノウハウを、子どもたちと一緒に走りながら伝えました。小鴨さんは『何事もまず「やってみる」が大切。うまくいかなくても、やり方を変えて挑戦を続けて』とエールを送りました。

6年生の森陣太さんは「いろいろな競技ができて楽しかった。高跳びはバッチリでした」とにっこり。



▲平山さん(左奥)の合図で走り出す小鴨さん(左手前)と児童たち

地域の公共交通に新しい風

平成筑豊鉄道株式会社に新社長が就任

10月4日、平成筑豊鉄道株式会社（本社：福智町）で、新社長就任会見が行われました。

利用者の減少など厳しい経営状況が続く中、同社は地域に密着した公共交通としての役割を果たすため、新社長の公募を決定。本年4月から鉄道の経営改善と地域の活性化を担う人材の公募を開始しました。県内外から応募があった88人の中から、行政経験があり、交通関連会社の社長を務め豊富な経験を持つ河合賢一さん（大分県佐伯市出身）に鉄道の未来を託しました。河合社長は「駅そのものが、人が集まるコミュニティになる。駅ごとの宝を発掘し、鉄道が人を運ぶことで地域の活性化につなげたい」と抱負を語りました。



▲固い握手を交わす左から二場公人市長、河合社長、小川洋知事